

ヒロコ・ムトーさんによる朗読講演

# 「心の宅急便」



船橋市立飯山満中学校



ヒロコ・ムトーさん

演活動を、神奈川県を中心に行っている。千葉県内では同校が2校目の講演。

講演の初めに、同中合唱

部員がムトーさんにサプラ

イズで「友だちにならな

い？」をきれいな歌声で歌

った。これはムトーさんが

作ったメッセージソングの

1曲。ある中学生の女の子

が小学校4年生の時からい

じめに遭い、中学校に入っ

てもずっと独りぼっちだっ

たとき、一人の女の子に「友

だちにならない？」と声を

掛けられたことで救われ、

明るくなった話をもとに作

ったという。

また、ムトーさんは次女

が中学時代にたわいもない  
ちょっとしたきっかけから

遭ったいじめの体験を話

し、彼女が描いたクマと子

猫のイラストをスライド上

映しながら、彼女自身が自

信と笑顔を取り戻すまでの

物語を朗読、生徒たちは静

かに聞き入っていた。

途中で行われた長村美代

子さんによるハーブの生演

奏は心に染み入り、会場が

和んだ。

ムトーさんは「周りを見

回して、いじめに遭ってい

る子がいたら、独りぼっち

の子がいたら、友だちにな

らない？と声を掛けるだけ

でいい。その一言で救われ

る友だちがいるかもしれま

せん。これは魔法の言葉で

す」と優しく語り掛け、講

演を終えた。

2年生の三木友騎さんは

「自分を信じること、友だ

ちを信じることの大切さを

感じました」。3年生の長

谷川真鈴さんは「どんなに

いじめを受けていても自分

を信じていれば、周りから

温かい言葉や勇気がもたら

ると思いました。これから

は自分から声を掛ける勇氣

を持って毎日大切に送り

たい」と力強く話してくれ

た。

(智子)

11月15日、船橋市立飯山満中学校（清水龍夫校長、生徒数324人）で、作詞家でエッセイストのヒロコ・ムトーさんによる朗読講演「心の宅急便」が開かれた。

ムトーさんは「生きる

ことの大切さ、そして「い

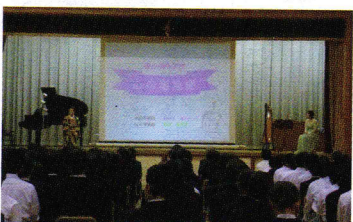
じめの怖さ悲しさ」を知っ

てほしいと、いじめから生

まれた詩集『あなたがいい』

の朗読を通して「いじめ防

止と克服」を呼び掛ける講



講演会の様子